



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年7月9日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

若き自主避難者の苦悩

9日(日)＝1、3面



東日本大震災の東京電力福島第1原発事故で大勢の人々が突然、故郷を追われました。放射線量が一定レベルを超えた区域では、国は住民を強制避難させました。一方、区域外でも被ばくへの不安などを理由に、多くの人々が住み慣れた土地を離れました。ただ、政府や東電は自主避難には賠償金などに差を付けたのです。

自主避難者は生活面や金銭的に苦しんだだけではなく、家庭内に溝ができてしまった事例がありました。子どもらが、自主避難を決めた親に反発するケースも見受けられたのです。金本暁(あつき)さん＝写真＝もその一人。原発事故の発生時は中学1年生で、一家5人で九州へ自主避難しました。福島での同級生と誓った夢は絶たれ、新天

地での生活にもなじめませんでした。しかし「アクションリサーチ」という研究方法を知ったことで金本さんは変わっていきました。今は、原発の「安全神話」がどう作られてきたのかを分析するという目標に向かって行動しています。若き自主避難者の苦悩と、心境の変化に迫ります。

論点

外国人と暮らす

14日(金)＝オピニオン面

人口減少と高齢化が同時進行しています。深刻な労働力不足となるのは明らかで、外国人労働者を受け入れて定住してもらうことが問題解決のカギを握るとされています。しかし、日本社会には外国人へのゆがんだイメー

ジがあるほか、外国人が日本で暮らすには多くのハードルがあります。一方、日本が外国人の定住に向き合わないうちに、そっぽを向かれ、賃金の高い欧米や韓国に外国人労働者が流れています。問題解決の方策を探ります。



日系ブラジル人の従業員が多い工場内には、ポルトガル語の表示がある＝甲賀市で



女性トイレ使用制限訴訟 最高裁判決

12日(水)＝3面

戸籍上は男性で、女性として生きる50代の性同一性障害の経済産業省職員が、女性トイレの利用を不当に制限されたとして国に処遇改善を求めた訴訟の上告審判決が11日、最高裁2写真3小法廷で言い渡されます。

原告は、執務室から2階以上離れたフロアの女性トイレを使うよう上司から指示されていた。判決の内容によつては、性的少数者の職場環境のあり方に影響を与える可能性があり、最高裁の判断を詳報します。

特集ワイド

マイナカードのツボ

12日(水)＝夕刊特集ワイド



マイナンバーカードを巡るトラブルが止まりません。住民票の写しの誤交付や健康保険証の誤登録などが次々と発覚。利用者の個人情報漏えいや誤診にもつながりかねません。河野太郎

デジタル相＝写真＝の説明にも疑問の声が上がります。不信感が強まる中、マイナカードを返納する人も増えているといいます。そんな一人に同行して、この問題について考えました。

竹橋の窓ばかり

編集後記

毎日新聞の人気コラム「松尾貴史のちよつと違和感」が「人は違和感が9割」というタイトルで書籍化されました。これを記念し12日に松尾さんが登壇するトークイベントを開催します。お相手は「違和感を持ったら、『そうでもないだ』と流さないでいたい」と語るライターの武田砂鉄さん。みなさんの違和感も募集中。イベントのネタになるかも。ぜひお寄せください！(長尾真央)

